



第35号

町長のまちづくり奮闘記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～
【福島中学校野球部全国大会出場を祝う・・・】

地球温暖化の影響と思われるような異常気象がここ数年多発しており、今年は西日本を中心に異常な猛暑が続いております。

反面、北海道は曇りの日が多く続きましたが、ようやく七月下旬頃から夏らしい天気が続いております。

そんな中、嬉しい話題として、知内町と木古内町を会場に七月二十八日（土）から三十一日（火）の期間で開催された、「全道中学校体育大会軟式野球大会」において、「福島・松前中学校」の合同チームが見事優勝を成し遂げ、広島県呉市で開催される全国大会へ出場いたします。

全道大会の決勝戦では、延長八回に地元の馬林選手が見事な満塁ホームランを打ち、逆転勝ちしました。

福島中学校の野球部が全国大会へ出場するのは、初めての快挙であり、

町全体に喜びが広がっている感じがいたします。

七日（火）には、急遽でありましたが役場庁舎前で出場選手の壮行式を行い、保護者をはじめ多くの町民の方が駆けつけ、私も町民を代表し激励をさせていただきました。

是非、全国大会でも北海道の代表として誇りを持ち、頂点を目指していただきたいと期待をしております。

子ども達がこの貴重な経験をすること、大きく成長することを期待するとともに、後輩たちが後に続くことを願うものです。
がんばれ福中ファイター！

追伸：八月二十一日（火）、炎天下の中、東広島運動公園野球場において、岐阜県垂井町立不破中学校と初戦を戦いました。子ども達は全国の舞台で臆することなくハツラツとプレーをし、終始押し気味の展開でしたが、健闘むなしく破れてしまいました。

八月五日（日）に、「北海きたえーる」において、「北海道百五十年記念式典」が開催され、参加をさせていただきました。

当日は、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、高橋はるみ知事の式辞で始まり、第一部の式典、第二部が記念プログラム、第三部がスペシャルライブの三部構成で式典が行われました。

第一部で、未来への応援歌「イランカラプテ（こんにちは）」君に逢えてよかった」を会場全体で大合唱しましたが、歌詞の中の「君に逢えてよかった 今日はいいい日だ」の言葉が大変印象に残りました。

また、アイヌ民族の伝統芸能・地域の伝承芸能が披露され、若いアイヌの方々の歌声が大変美しく感じられ、心にしみてきました。

続いて、地域伝承芸能として、松前神楽と江差追分が披露され、改めて

道南地域の歴史の深さを感じ、特に、江差追分の唄い手の菊地勲さんの会場一杯にしみ渡る追分は、情感に響くものがありました。

第二部の記念プログラムでは、高校生による吹奏楽ダンスや書道パフォーマンスなどが披露されました。

第三部のスペシャルライブでは、北海道出身の大黒摩季さんのミニコーポステージがあり、最後は、会場の全員が一体となり、「ラララ」の大合唱で大変盛り上がり終了となりました。

改めて、北海道の百五十年の歴史を感じ、先人たちの苦労と思いに感謝するとともに、先人たちの思いを新たな五十年、百年、百五十年先に伝え、つなげていかなければならないと思います。